

2019年度一般入学者選抜試験（前期日程）

小論文 正解例と対策

【採点の基本方針】

- ・解答が誤っているか無記入である場合は 0 点とした。ただし、誤った解答であっても、根拠を示し、論理的にある程度の整合性を有する場合には、その内容に応じて基準点を与えた。また、正解例および採点基準の記載と異なる内容であっても、根拠を示し、論理的に整合している場合は、正解として取り扱った。
- ・表記、用字等に誤りや不適切な箇所がある場合であっても、単なるケアレスミスであり、解答の内容に本質的な影響のないものは減点の対象としなかった。
- ・正解として必要不可欠な内容が明確に記述されているかぎり、文章量の多寡は評価基準としなかった。
- ・「設問には問題文（メモ用紙の内容を含む）と各設問のみに基づいて推論し答えること」との条件があるので、これらに明確な根拠のない推論、および事実に基づいて推論した内容を事実と仮定し、仮定に基づいてさらに推論した記述については、採点の対象としなかった。解答と直接関係しない意見・感想等についても採点の対象としなかった。

問 1

【ほとんど変わらない要因】

要 因	理 由
同窓会役員のイベントへの出席	・毎年、同じ人数が出席している（メモ 11）。
広報で宣伝カーを 3 回以上走らせること	・大学祭の 2 週間前に宣伝カーによる広報を実施した場合、3 回目以降では観客の増加がなかった（メモ 6）。

※ このほか、「ポスターによる宣伝」「チケットの値段」「大学の規模」などを要因に挙げたものも正解としました。

※ 要因として広報を挙げる場合には、宣伝カーの 3 回目以降に限定していることが正解として必須です。

【状況によって変化する要因】

要 因	理 由
芸人のグランプリ入賞	・他大学の経験などから、グランプリの獲得や上位入賞があれば、学生の観客はおよそ 1.5 倍、地域からの観客はおよそ 1.4 倍、ファンの観客はおよそ 1.1 倍になっている（メモ 7）。
大学からの情報発信 （広報の有無）	大学の車を使って市内に宣伝カーを走らせたり、地元ケーブルテレビを使った宣伝をしたりすることで観客数が増えた経験がある（メモ 6）。

※ このほか、「天候」「クラスに熱心なファンがいた場合」などを要因に挙げたものも正解としました。

【採点基準】

- ・「要因」だけ正解の場合は部分点を与え、「理由」だけ正解の場合は部分点を与えなかった。
- ・「要因」が不完全でも、「理由」と合わせて理解できていると判断できる場合には加点した。ただし、あまりにも「要因」の表記が不適切な場合は点を与えなかった。
- ・「理由」が、「要因」に記述した内容の言いかえにすぎないものは点を与えなかった。
- ・問題文やメモ用紙に明示されていないことから推論したと判断される解答は採点対象としなかった。
- ・ほとんど変わらない要因として、観客数が増加する要因と減少する要因を、同時に生じて相殺されるとした解答は誤りとした。

- ・1つのメモにまとめられている内容を分割して2つの要因として解答をしている場合は、題意に反するので、点数の高い方のみを採点した。
- ・理由で要因の具体的内容が書かれていないもの（例：「メモ〇だから」だけの表記）は減点の対象とした。

問 2

カストル&ポルクスがグランプリ上位入賞を果たさなかった場合、メモ3とメモ9から、昨年の観客数の内訳を推測すると、学生154人、地元客154人、ファン78人（学生4：地元客4：ファン2の割合）の計386人程度となる。これにメモ6の宣伝カーと地元ケーブルテレビによる広報をしたことで増える70人程度を加えると、450人程度となる。

カストル&ポルクスがグランプリ上位入賞を果たした場合は、メモ7から、学生は1.5倍、地元客は1.4倍、ファンは1.1倍にそれぞれ増えるため、学生231人、地元客215人、ファン85人程度になると見込まれる。これに宣伝効果により、増えた地元客70人程度が加わる。なお、当日の天気は晴れのため、観客数の減少はない。合計すると600人程度の参加が見込まれる。

【採点基準】

- ・以下の項目に示されている内容が記述できている解答にそれぞれに一定の基準点を与えた。
 - ・昨年の観客数を基準に考えていると判断できる。
 - ・昨年は広報しなかったが、今年は広報したことを理解している。
 - ・お笑い芸人がグランプリ入賞した場合と、していない場合に場合を分けて書いている。
- ・さらに、以下の項目に示されている内容が記述できている解答にそれぞれ基準点に加点した。ただし、5項目のうち4項目以上正解した場合は満点とした。一方、誤りが記載されている場合は基準点から減点した。
 - ・昨年の観客数が386人（学生154人、その他232人）であったことを理解している。
 - ・今年は広報で70人増えることを理解している。
 - ・お笑い芸人がグランプリ入賞した場合の観客数は、600人（端数の扱いで601人～603人になる）程度になることを理解している。メモ7にグランプリ入賞があれば、広報活動による増加分を含めての倍数の記述がある。しかし、倍数した人数に増加分を加えるのか、増加分を加えて倍数を求めるのかが明記されていない。そこで、計算の順序で630人から640人程度になることがあるため、これについても正解とした。
 - ・お笑い芸人がグランプリ入賞しなかった場合は、456人（450人程度または460人以上との記述でも可）と書かれている。
 - ・メモ18と19を比較して今年の方がSNSの書き込み数が多い傾向にあるので、昨年よりもさらに増加する可能性があると考えられている。

【対策】

- ・一般入試（前期）の小論文は、センター試験では判断し難い情報収集力、分析力、論理的な思考力、客観的な文章の作成力を総合的に評価することを主な目的としている。そのため、何か特別の科目を勉強することや練習問題を解くなどの短期間の準備で点数が上がる問題ではない。高校の日常の学習で得られるような総合的な学ぶ力が向上することによって点数が上がると思われる。